○条例の認知度について

令和3年9月 提言内容	
若い年代に関心を持ってもらえるよう、自治会など地域活動において、市内の学生が活躍できるような仕組みを作るなど工夫が必要であると考えます。 さらに、現在、小・中学生を対象に行っている早朝ミニ講座は、身近な事例を通して学ぶことができ、家庭での話題となりやすく、子どもから家族への広がり期待できることから、今後も継続して行っていくことが必要です。 より多くの市民にこの条例を知ってもらうためには、解説書とは別に、分かりやすい媒体を作成することが効果的です。市民のアイデアを取り入れながら、理解しやすい言葉や写真・イラストなどを使い、手に取ったときに江別市民にとって大切な条例であることが一目見て分かるリーフレットを作成するなど、工夫していただきたい。なぜ自治基本条例が必要なのか、この条例がない場合のデメリット、あることによるメリットについて情報発信することで、市民がもっと関心を持ち、市民参加・協働にも繋がっていくと考えます。	
主な取組事例	
提言を踏まえた市の取組(R3～R5) ・学生ボランティアの活用 学生ボランティア(ジモガク)の企画の主体となり得る団体から事業活動に関する問い合わせ、相談に対応し、「えべつまちづくりワークショップ」や「大麻あじさいロード雪囲いボランティア」の実施 2-1 ・早朝ミニ講座の継続実施 小学校4年生、中学校2年生を対象とした講座を継続して実施 2-2 (R5年度 小学校4年生 1,087人 中学校2年生 1,030人) ・パンフレットの作成 令和4年度にまちづくり活動に参加している市民、大学生、デザイナーら7名の市民グループによる条例をわかりやすく解説するパンフレット作成 参考資料 2 ・リーフレットの作成 令和3年度にわかりやすさに重点をおいたリーフレット作成 参考資料3	
アンケート	市の自己評価
問3 市民が主役のまちづくりを進めるために、市民の手で作られた、「江別市自治基本条例」を知っていますか。 参考資料7-P1 問4 問3で1～3のいずれかを回答した方にお尋ねします。「江別市自治基本条例」を何で知りましたか。(あてはまるものすべてを選んでください) 参考資料 7-P1 問5 自治基本条例がわかるパンフレット(わたしたちがつくるえべつのまち)は、条例の内容がわかりやすく記載されていましたか。 参考資料 7-P2 問6 自治基本条例のリーフレット(主役はわたしたち！みんなで進めるきょうどうのまちづくり)は、わかりやすいと思いますか。 参考資料 7-P2	アンケートの結果では、年代別に見ると若年層の認知度は向上しています。 一方で、約6割の市民が本条例について認知していないことから、今後も、継続して本条例の内容や趣旨の周知に取り組んでいく必要があるものと考えます。
メモ	